

令和元年12月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和元年12月23日（月）午後1時30分～午後3時30分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	藤原 健一
教育委員	野村 道彦
	吉田 加代子
	安田 優二
	多田 好江

事務局

教育総務課長	片山 正幸
こども教育課長	楠田 千晴
こども教育課参事	磯田 英昭
生涯学習課長	中村 和弘
教育総務課主査	大城 優

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した案件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に吉田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

1月29日から1月22日までの期間(前回の教育委員会～昨日)に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

6 協議事項

(1) 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果について

(こども教育課長)

香美町の調査結果の概要について解説

→実施日:平成31年4月18日(木)

→対象:小学校6年生:10校…128人(前年比:14人増)

中学校3年生:4校…150人(前年比:21人増)

→調査内容:国語、算数・数学、英語(中学校)の調査。生活習慣・学習環境等の調査

→小学校に関する状況

○全国平均を上回る・・・なし

○" と同程度・・・国語

○" を下回る・・・算数

→中学校に関する状況

○全国平均を上回る・・・英語

○" と同程度・・・国語、数学

○" を下回る・・・なし

→同基準により兵庫県と比較した場合、小学校の国語が「同程度」、算数が基準を「下回る」。

中学校は国語、数学、英語ともに「同程度」

→今年度から「知識」及び「活用」に関する問題を一体的に出題

→中学生を対象に「英語」の調査を初めて実施

→教科ごとの調査状況(調査結果の概略)について説明

→児童生徒質問紙に関する調査状況(経年比較含む)、学力のクロス分析について説明

→児童生徒ともに読書時間が減少。「3つの町民運動」における読書の取組を推進

→「ふるさと意識の醸成」が児童生徒ともに90%台。ふるさと教育の取組成果が浸透

→家庭学習の時間と平均正答率との間に、ゆるやかな相関関係

→今後の香美町の取組の方向性について説明

○学校では、「学ぶ授業」から「学び合う授業」へ質的転換を図るとともに、魅力ある授業づくりを推進。具体策として、個人カルテの活用などにより、一人もつまずきを見逃さない個別指導を実施

○指導力を高め合う組織づくりと学びの連続性のある取組

○「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の質的向上

○家庭をすべての教育の出発点にするとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という機運を盛り上げる。

○規律ある生活、家庭内での対話及び家庭学習の習慣化 等

→香美町のホームページで公表。学校便りで各校の結果の分析と課題について保護者に公開

【協議内容】

(安田委員)

冊子の24・25ページに、現在の中学3年生が小学6年生の時と比較し、どのように変化して

いるのかについての追跡結果とその分析結果があります。とても興味深い内容ですが、表の「全国との比較」欄の表現方法が少し分かりにくいように感じました。25ページの最後にその説明について記載されていますが、それを読まずにバツと表だけを見てしまうと、疑問に思ってしまう人もいるのではないのでしょうか。

(こども教育課参事)

これは、25ページの最下段の説明にあるように、「香美町の結果(小6時-中3時)-全国の結果(小6時-中3時)」が、2%を超えて高い場合は上向き矢印、逆に2%を超えて低い場合は下向き矢印で表記しています。

(安田委員)

上向き矢印であった場合についてですが、中3の時の回答状況の数値が小6の時に比べて下がっていたとしても、全国に比べたら下がり方が緩やかであるという解釈でよろしいのでしょうか。

(こども教育課参事)

そのとおりです。数値が下がっていたとしても、下がり幅に着目すると、全国と比較して上向いているという考え方です。

(安田委員)

全国と比較すると少し分かりにくくなると思いますので、例えば「香美町の子どもたちの移り変わり」のような表現にされるのはいかがでしょうか。全国との比較にこだわられた理由について教えてください。

(こども教育課参事)

例えば、数学は全国的にみると中学3年生で難しく感じる生徒の割合は多くなりますが、香美町においてはその傾向が弱くなることをこの表で示しています。香美町の生徒の傾向について、より細かく分析するために全国と比較しています。

(安田委員)

今、磯田参事からご説明いただいたので、解釈の仕方がわかりましたが、初見でそこまで解釈することは、少し難しいのではないのでしょうか。

(教育長)

それではこの部分について、誰が見てもわかりやすい表現になるよう検討してください。

(こども教育課参事)

了解しました。

(多田委員)

中学生の英語に関する興味関心についての調査結果を見ると、香美町において普段英語を利用する機会が、やはり少ないように感じました。今年度の夏休みに、新たな試みとして「ESA」を実施しましたが、同じような機会を子どもたちにもっともっと作ってあげることが必要です。また、それ以外にも外国の方が直接来町する機会などを活用し、子どもたちが日常的に外国の方に出会う機会を与えてあげれば、外国語の必要性を感じるとともに、学習意欲もより高まっていくと思います。そのような機会をたくさん作ってあげることが、教育委員会の仕事ではないのでしょうか。

学校運営に関する取組状況についての調査結果で、「自校の分析結果の学校全体での活用」について示されていました。自校の課題については、ある程度校内で共有されていると思います。それに加えて、先生方が「今現在、何が教育現場に求められているか」などについて情報を共有し、その意識を高めるため、「自校の子どもたちにとって、何が一番大切なのか」ということをしっかりと把握するとともに、日々の授業の中でそれが十分生かされていくことが、今後必要なのではないかと感じました。

「主体的・対話的で深い学び」が今求められていますが、私は調査結果全体を見て、香美町の子

どもたちに足りないのは、日々の授業の中での「対話的な学習」だと思いました。

最初は時間がかかるかもしれませんが、授業だけではなく、学級全体での話し合いの場などにおいても、対話的なプロセスがきちんとなされて、それを少しずつ積み上げながら、学校全体に広げていくような取組が大切だと思います。特に、経験が浅い若い先生方が、理想的な授業をイメージできるような「研修の場」が必要なのではないのでしょうか。新任の先生を指導する立場の先生方は、校内にもいらっしゃいますが、実際には自分のクラスの対応が精一杯で、授業をお互いに見合うことができないのが現実だと思います。

(教育長)

なるほど、モデルになるような先生がそれぞれの学校にいれば、新任やほかの先生方にとっても授業のイメージが非常にしやすい。「深い学び」について、若い先生方にもイメージがつかみやすいようなモデル授業など、研修の在り方についても検討していきたいと思います。

(多田委員)

読書活動の調査結果についてですが、私は読書の「質」が低下しているように感じるとともに、こども教育課長の説明にとっても納得しました。

香美町では、読書を「3つの町民運動」の一つの柱として力を入れています。学校の現場では、先生方も一生懸命に読書指導をしていますし、香住区中央公民館の司書の方などから本の紹介などもしていただいています。しかしながら、学校訪問などの際に私が感じていることは、図書室がうまく機能していないことです。

図書室に常に子どもたちがいる状況が理想的なのですが、主にお昼休みや図書の貸し出しをする時間帯のみの利用となっています。昔は、国語の授業時間などを利用し、学級単位で図書室に行く機会がありました。しかし現在では、外国語活動やプログラミング教育などの授業時数が増えたこともあって、そのようなことはなかなかできない状態です。また、子どもたちが図書室を訪れた際に、必ず図書担当者が在席しているかという点、そうではありません。子どもたちが課題を解決するための本やおすすめの新刊などについて紹介してくれる人が図書室にいないと、たとえたくさんの素晴らしい本があったとしても、それらを有効に活用できずに終わってしまっているのではないのでしょうか。

小代小学校は、併設する地区公民館の職員が常時いらっしゃることもあり、子どもたちにとっていつでも図書室が利用しやすい環境です。ほかの学校では、先生方が学級担任をしながら図書担当を兼務しているので、同様の環境を維持することは非常に困難です。全校に司書教諭を常時配置することはおそらく難しいと思いますが、たとえ週に1日ずつであっても各校の図書室を巡回してくれるような職員を配置し、読書の「質」の向上を目指してみたいはいかがでしょうか。

(教育長)

図書館司書の職員を現在募集中です。各校にいる図書担当者が対応できる範囲内で、図書室がより効果的に活用できる方法を模索するよう、校長へ伝えさせてもらいます。また、先ほど多田委員からたくさんのお話を伺いましたが、学校訪問に行かれた際に気づかれたことがありましたら、校長や教頭に遠慮なくご提言いただきたいと思います。

町民運動の3つの柱の一つとして「読書」を掲げていますので、香住区中央公民館、村岡区中央公民館、小代地区公民館などにある図書室と移動図書館車を今後さらに充実し、読書環境を整備しながら「質」の向上に努めていきたいと考えています。

(吉田委員)

こども教育課長から、読書の「質」が大切だというお話がありましたが、学習についてもただ時間をかけるのではなく、「内容の質」を上げることがとても大切だと思います。

子どもたちが登校した後に「朝の学習タイム」がありますが、近年ではその時間が計算や漢字な

どのドリルを解くことに費やされていることが多く、読書指導が少なくなりました。また、学校内で子どもたちが本にふれる時間が限定されていることもあり、自宅に帰ってからの読書を取組の一つとしています。ただその場合は、子どもたちが自分の好きな本を勝手に選んで読む「自由読書」になりがちであり、同じ分野の本ばかりを自宅に持ち帰って読むような形で終わってしまうことがあるようです。そのような状況を防ぐためにも、先生方が読書指導などの時間を少し設けることによって、子どもたちが新しい分野の本に興味を持つきっかけに繋げてみてはいかがでしょうか。

「朝の学習タイム」などを活用し、先生方も子どもたちと一緒に読書をする。その際に先生方だけではなく、時には子どもたちがおすすめの本をお互いに紹介し合うことにより、新しい本と出会う機会を子どもたちにたくさん与えてあげることが必要なのではないのでしょうか。

本の読み方についてですが、一気に読んでしまうよりも前回読んだ部分を振り返りながら読むことで、頭の中にいろいろなことが残っていくようです。学習の一夜漬けが数日たったら忘れてしまうことと同じで、文章や言葉を頭の中に入れていく作業を、たとえ少しの時間であっても積み重ねていくことが、脳の活性化に繋がっているのだと思います。1日の生活時間は決まっていますので、その中で読書も学習も睡眠もしっかり確保しようと思うと、それぞれの「質」を上げて効率の良いものにしなければなりません。そのためには、先生方の課題の与え方がとても重要になります。ただだらだらと書くだけの学習時間を一度整理し、例えば「新聞の中から習った漢字を見つける」など課題を工夫することが、それぞれの「質」の向上に繋がっていくのではないのでしょうか。

(野村委員)

学校現場の先生方から、「教えるべき教育内容に対して授業時数が足りない」であるとか、「やらなければならないことが多くて大変だ」というような声が出ていませんか。今後、英語やプログラミングなど新しいことが増えてきますし、香美町の授業時数について教えてください。

(教育長)

野村委員が言われた問題は、私も着任時に非常に気になったため状況を調査したところ、やはり授業時数が少し不足していました。法定の授業時数はクリアしなければなりませんので、それを確保するためのルールを統一し、現在では若干のプラスで動いています。また、1学期と2学期については、トータルでバランスのよい授業時数となっています。ただ教科によっては若干のプラスマイナスがありますので、それについては3学期に調整する見込みです。

吉田委員が「朝の学習タイム」のことを話されていましたが、読書指導も含め、各校で特色のある活用法について検討の余地があると思います。今後、皆さんからいただいた貴重なご意見を、香美町の教育へ反映させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

7 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○12月議会：一般質問について

- ・「学校統廃合について」(岸本正人議員)
- ・「学校統合の対応策について」(見塚修議員)
- ・「教育現場におけるコンピュータのセキュリティについて」(西谷尚議員)
→学校に配置されたパソコンの不足等について
- ・「香美町の教育現場はどうか」(上田勝幸議員)
→東須磨小学校の問題について。ハラスメント防止対策について
- ・「学校体育館のエアコン設置について」(西谷高弘議員)

○香住第二中学校の統合に対する要望書について

- 12月25日(水)に香住第二中学校のPTA会長が町長へ要望書を提出
- 学校給食センター調理員(正規職員)の採用について
 - 2人採用予定
- ALTの退職について
 - 12月末日付けで1人が退職。3学期から新しいALTを民間委託

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

- 英語・外国語活動に対する意識調査について
 - 令和2年度からの「英語・外国語活動」の本格実施に際し、児童・生徒の意識調査を実施
 - 対象：小学3年生及び6年生の児童、中学1年生及び3年生の生徒
(中学3年生の生徒については、全国学力・学習状況調査の結果を活用)

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

- 「第38回美方郡子ども会交歓卓球大会・交流卓球大会」の結果について
 - 12月8日(日)に健康公園体育館(新温泉町)で開催され、98人の小学生(うち香美町の児童：46人)が参加。全部門で香美町の選手が上位に入賞。小規模校の児童が健闘
- 「第15回香美町民スキー大会」について
 - 令和2年1月26日(日)におじろスキー場で開催予定
- 「令和2年香美町成人式」について
 - 令和2年1月12日(日)に香住区中央公民館：文化ホールで開催予定

8 その他

○但馬地区教育委員研修会について

- 日時：令和2年2月13日(木) 午前10時～
- 会場：豊岡市立豊岡南中学校(豊岡市大磯町1番65号)
- 内容：平田オリザ氏によるコミュニケーション教育授業の参観等

○令和2年度の事業日程について(予定)

- ①全県女性教育委員：総会・研修会
 - 日時：令和2年 6月25日(木) 会場：丹波の森公苑(丹波市)
- ②近畿市町村教育委員会：研修大会
 - 日時：令和2年11月10日(火) 会場：神戸文化ホール(兵庫県)

○次回の定例会について

- 日時：令和2年1月29日(水) 午後1時30分～
- 会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○令和2年2月の定例会及び「総合教育会議」について

- 日時：令和2年2月21日(金) 午後1時30分～
- 会場：香美町役場3階 庁議室

※定例会終了後、午後3時30分から同会場で「総合教育会議」を開催予定

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

令和元年12月23日

教育長 藤原健一

香美町教育委員会 署名委員 吉田加代子

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優